

真冬の朝日を浴びながら

D B_n G A D B_n G A

D

まだ 静かな道歩く

B_n

足音だけ聞こえてくる

E_nA₂

G

真冬の朝日を浴びながらゆく

D

B_n

そっと吐き出す白い息が

G

A

光にほじかれ空へと溶けゆく

D

G

眠りの名残り抱えて

A

D

影をうけて歩く

A

陽の光

D

B_n

冷たい奥にある

G

A

かすかな温もりをこの

D

B_n

手のひらで確かめ

G

A

今日という日が

G

E_n

D

A₂

静かに始まる

駅へ向かう まぼろしの影

長く伸びては 揺れている

真冬の朝日を浴びながらゆく

駅のたびに停車する電車

扉が開くとき 冷たい風が

コートの中 僅かに揺らし

小さく震えてほう

車窓の外 冷たい風の中

淡い光 ビルのフチを染め

手すりを握りしめ

今日という日が

動き出してゆく